

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名) 保育実習指導 I	授業の種類 (講義・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 柳田 真理子	当該科目に関する 実務経験 保育士		
授業の回数 30 回	時間数 (単位数) 60 時間 (2 単位)	配当学年・時期 1 年・通年	必修・選択 必修		
[授業の目的・ねらい] <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実習の意義、目的を理解する。 ・ 実習の内容を理解し、自らの課題を [授業全体の内容の概要] <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習に関する概要、方法、記録のとり方、実習生としての心構えなどについて学習する。 ・ 学外からの特別講師から理論や実技などを学ぶ。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実習の意義、目的を理解し、自分なりのめあてを持って意欲的に実習に取り組む。 					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. 保育実習の目的と意義 2. 実習の留意事項について (マナー、守秘義務など) 3. 保育現場の実際① 4. 保育現場の実際② 5. 保育とは① (保育内容の展開、内容構成、子どもの活動) 6. 保育とは② (保育内容の展開、内容構成、子どもの活動) 7. 現代の保育について (認定こども園・幼保一元化・子ども子育て新プランなど) 8. 観察と記録① (視聴覚教材を通して) 9. 観察と記録② (視聴覚教材を通して) 10. 実習日誌の書き方について① 11. 実習日誌の書き方について② 12. 指導案の書き方について① 13. 指導案の書き方について② 14. 指導案 (部分実習) 作成 15. 特別講演会 (保育) </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 16. 身上書の書き方、事前訪問の仕方について 17. お礼状の書き方について 18. 自己紹介用の小物製作① 19. 自己紹介用の小物製作② 20. 事前指導①実習に関する書類 (様式) の確認 21. 事前指導②実習日誌・指導案についての確認 22. 事前指導③実習に向けての心構え、留意事項の確認 23. 事前指導④巡回担当教員との面談 24. 実習目標設定 25. 保育所実習反省会 26. 施設実習の目的・意義/施設とは (施設の機能と特徴) 27. 施設の実際/保育士の役割 28. 施設見学 29. 演習 (食事・着脱・排泄など施設での様々な場面における対応について) 30. 特別講演会 (施設) </td> </tr> </table>				1. 保育実習の目的と意義 2. 実習の留意事項について (マナー、守秘義務など) 3. 保育現場の実際① 4. 保育現場の実際② 5. 保育とは① (保育内容の展開、内容構成、子どもの活動) 6. 保育とは② (保育内容の展開、内容構成、子どもの活動) 7. 現代の保育について (認定こども園・幼保一元化・子ども子育て新プランなど) 8. 観察と記録① (視聴覚教材を通して) 9. 観察と記録② (視聴覚教材を通して) 10. 実習日誌の書き方について① 11. 実習日誌の書き方について② 12. 指導案の書き方について① 13. 指導案の書き方について② 14. 指導案 (部分実習) 作成 15. 特別講演会 (保育)	16. 身上書の書き方、事前訪問の仕方について 17. お礼状の書き方について 18. 自己紹介用の小物製作① 19. 自己紹介用の小物製作② 20. 事前指導①実習に関する書類 (様式) の確認 21. 事前指導②実習日誌・指導案についての確認 22. 事前指導③実習に向けての心構え、留意事項の確認 23. 事前指導④巡回担当教員との面談 24. 実習目標設定 25. 保育所実習反省会 26. 施設実習の目的・意義/施設とは (施設の機能と特徴) 27. 施設の実際/保育士の役割 28. 施設見学 29. 演習 (食事・着脱・排泄など施設での様々な場面における対応について) 30. 特別講演会 (施設)
1. 保育実習の目的と意義 2. 実習の留意事項について (マナー、守秘義務など) 3. 保育現場の実際① 4. 保育現場の実際② 5. 保育とは① (保育内容の展開、内容構成、子どもの活動) 6. 保育とは② (保育内容の展開、内容構成、子どもの活動) 7. 現代の保育について (認定こども園・幼保一元化・子ども子育て新プランなど) 8. 観察と記録① (視聴覚教材を通して) 9. 観察と記録② (視聴覚教材を通して) 10. 実習日誌の書き方について① 11. 実習日誌の書き方について② 12. 指導案の書き方について① 13. 指導案の書き方について② 14. 指導案 (部分実習) 作成 15. 特別講演会 (保育)	16. 身上書の書き方、事前訪問の仕方について 17. お礼状の書き方について 18. 自己紹介用の小物製作① 19. 自己紹介用の小物製作② 20. 事前指導①実習に関する書類 (様式) の確認 21. 事前指導②実習日誌・指導案についての確認 22. 事前指導③実習に向けての心構え、留意事項の確認 23. 事前指導④巡回担当教員との面談 24. 実習目標設定 25. 保育所実習反省会 26. 施設実習の目的・意義/施設とは (施設の機能と特徴) 27. 施設の実際/保育士の役割 28. 施設見学 29. 演習 (食事・着脱・排泄など施設での様々な場面における対応について) 30. 特別講演会 (施設)				
[使用テキスト・参考文献] <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所施設実習ハンドブック (ミネルヴァ書房) ・ 『フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画』 (萌文書林) ・ 『幼稚園・保育所実習のよく出会う問題とその対応』 (萌文書林) ・ 保育実習の手引き 					
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 考查点 (75%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記及び実技試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点 (25%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。 					